

目黒哲也 通信

市政について皆様の声をぜひお聞かせください!



●発行人 目黒哲也

●連絡先 目黒哲也後援会事務所

所属委員会・社会厚生委員会 委員長・議会運営委員会・議会広報編集特別委員会・都市計画審議会
・新潟県後高齢者医療広域連合議会議員・魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会議員

〒949-6612 新潟県南魚沼市東泉田 1076-1 TEL 025-773-6253
携帯 090-4011-7563 E-mail kinseikan.tetsuya430623@gmail.com

目黒哲也
公式ホームページ
こちらから➡



目黒哲也通信のバックナンバーを希望される方は、メールあるいは電話にてお気軽にご連絡ください。

ごあいさつ

皆様には、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今から14年前、私が当時40歳の時に安倍晋三元首相とお会いし、記念撮影をさせていただきました(写真①)。その前年に、私が青年会議所の新潟ブロック会長を務めていた時に、出会った著書が、この「美しい国へ」～自信と誇りのもてる日本へ～(写真②)でありました。

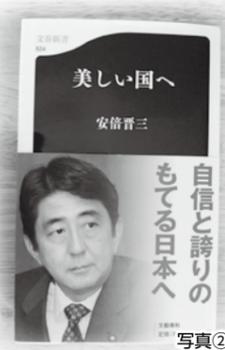
「私が10代、20代の頃、どんなことを考えていたのか、私が生まれたこの国に対して、どんな感情を抱いていたのか、そしていま、政治家として、どう行動すべきなのか、を正直につづったものだ。だから若い人たちに読んで欲しいと思って書いた。この国を自信と誇りのもてる国にしたいという気持ちを少しでも若い世代に伝えたかったからである。」との言葉に惹かれて拜読させていただきましたことを思い出します。



写真①

今、改めて本を開くと、当時、胸を打たれた一文が蘇ってきて、今もお色褪せません。

「私たちの国日本は、美しい自然に恵まれた、長い歴史と独自の文化をもつ国だ。



写真②

政治は未来のためにある一わたしの政治家としての根っこにある想いを知っていたできれば望外の喜びである。」と。

安倍元首相の想いに少しでも近付けるよう勇猛精進して参る決意であります。

安倍晋三元首相に、哀悼の誠を捧げるとともに衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

そして、まだまだ大いなる可能性を秘めている。この可能性を引き出すことができるのは、私たちの勇気と英知と努力だと思う。日本人であることを卑下するより、誇りに思い、未来を切り開くために汗を流すべきではないだろうか。日本の欠点を語ることに生きがいを求めるのではなく、日本の明日のために何をなすべきかを語り合おうではないか。

「未来は不変のものではなく、みんなの努力によって作り出されていくものだ。」

そして結びの言葉は、「政治は未来のためにある一わたしの政治家としての根っこにある想いを知っていたできれば望外の喜びである。」と。



献花に行き、ご冥福をお祈りすると共に新たな決意を誓って参りました。

6月定例会において下記の一般質問を行い、皆様のお声を市政にお届けいたしました。

◎質問と答弁は以下の通りです。(一部抜粋)

南魚沼市議会 録画配信

検索

右の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。



一般質問

「市民サービス向上に向けた取組について」

行政サービスは多岐にわたるが、今回は、4点に絞って市長の見解を質す

市長答弁

職員が一丸となって、様々な取組を行っている

「マイナンバーカードの普及・促進の取組みは」

目黒 市民の利便性向上と業務の効率化の観点から、マイナンバーカードの普及が重要となるが、その取組みは。

市長 端末機や専用電話回線を増やし、会計任用職員も6名増員した。加えて申請窓口を毎月2回水曜日は19時半まで時間延長し、毎月2回、日曜日でも受付をしている。更に行政区と企業に協力を頂き、出張申請を行っている。今後も引き続き出張申請に力を入れていくと共に健康保険証との紐付けや公金取扱口座登録によるポイント手続きを行っていく。今後、窓口に来なくても行政手続きが出来る等、利便性を高めるよう積極的に取り組んでいきたい。

目黒 出張申請の成果は？

市民生活部長 述べ26回行い、248人の登録があった。

目黒 商業施設、携帯ショップ等に申請ブースを設置したり、介護施設、確定申告の会場、ハローワークの雇用説明会、免許センター、健康診断、各業界の総会等の集会、成人式等のイベントで申請用紙を配る等、民間企業等と連携したらどうか。

市民生活部長 コロナ前には、商業施設で、度々行っていた。確定申告会場にも、11回行き、多くの申請があった。言う通り、人が集まって、かつ待ち時間があるようなところは、狙い目だと思う。免許センターには打診してみたい。色々な提案を頂いたので、他にもいいところがないか課内でも相談をし、ぜひ進めていきたい。

目黒 申請を増やしていくには、やはりカードの魅力が必要だ。金融機関との連携、商店街のポイント、市民のボランティアポイントや健康ポイント等の付与、母子手帳の活用や飲食店等々の特典等、魅力向上への取組みを考えてはどうか。

市長 1枚に集約されてることが理想の姿であると考えている。非常によい提案を頂いた。

「うおぬま・米ねっとの普及の取組みは」

目黒 医療・介護連携と地域包括ケアシステムを推進していく

ために、うおぬま・米ねっとの加入者を増やすことが重要であるが、その取組みは。

市長 新型コロナワクチン接種会場に、うおぬま・米ねっとのポスター掲示、紹介映像、登録申請用紙を配置し、PRをしている。また介護保険申請受付時に加入を勧めている。加えて介護サービス事業所に加入促進のお願いをしている。

目黒 魚沼市との差は、65歳以上の加入率で、南魚沼市は38.8%、魚沼市が68%と大きな開きがある。加入メリットの高い65歳以上を増やしていく取組みが必要では。

福祉保健部長 介護サービス事業所に対して、積極的に加入の協力をお願いしていく。

「障がい者雇用への取組みは」

目黒 障がい者が希望や能力、適性を十分に生かし、障がいの特性に応じて活躍することや障がい者と共に働くことが当たり前な社会を目指していくことが大切であると思うが、障がい者雇用への取組みは。

市長 現在、ハローワークを中心として取組みをしている。当市の障がい者雇用率は、2.25%で、全国平均、県平均を上回っている。今後も就労継続支援B型事業所において多岐にわたる作業訓練等を行い、就労移行支援につなげられるように、自立支援協議会等と協力し、就労定着支援や就労後のサポートをしていく。

目黒 障がい者の就労を継続していくことが大事である。継続的な雇用を支援し、支えていくためには、企業、福祉、教育、地域のネットワーク、地域のボランティア等の関係者が連携し合うことが必要と思うがどうか。

福祉保健部長 現在、自立支援協議会において、事業所、福祉分野、子育て等との関係機関と幅広く連携し、情報共有しながらサポートしている。

「本庁舎の整備計画は」

目黒 本庁舎の建物の躯体、内外装、屋上の防水の劣化等々、

今後の整備計画は。

市長 昭和54年に建設され、平成20年に耐震改修をし、43年が経過している。現在、空調設備、給排水設備、電気設備改修等と内部設備に大きな改修が発生している。特に整備計画等はない。

目黒 障がい者用の駐車場やアプローチ、障がい者用トイレ等のバリアフリーの対応は。

市長 構造上の問題等があり、直したくても、なかなか直せない状況が現実だと思う。

目黒 職員の職場環境を整えていくことも大切であると思う。職員も休憩時に銀行、病院、子どもの件、あるいは退庁後の用事等もあると思うので、車通勤が出来るよう駐車場の確保等検討していかねばならないのでは。加えて企業では、職場内の温度や湿度、トイレの数等、労働安全衛生法に定められている。また庁舎が分散していることで、職員の仕事の効率が下がるし、市民の利便性も悪いと思うが。

市長 職員は黙っているが、やがて、どの先かは、分からないが、この庁舎もそろそろという気持ちが当然ありながら、今は、市民が利用しやすいように出来る限りを尽くして努めている。

目黒 市民の駐車場不足、庁舎内の会議室不足等、また中心市街地に立地している庁舎なので市民の交流の場等もあると中心市街地の活性化にもつながっていくと思う。市民が利用しやすく、合わせて職員が仕事をしやすい環境は必要であると思うので、本腰をいれて将来計画を考えては。

市長 市の合併で本庁舎に機能が集中したことで、駐車場の不足や会議室の不足が顕著になっている。ただ山積する課題がある中で、最優先課題にするにはまだまだである。しかし市民サービスの向上、市の将来の発展、防災拠点として総合的に将来の青写真を描いていきたい。

めぐろの目録

キーワード⑱ マイナンバーカードと うおぬま・米ねっとの普及・利用促進

～市民サービス向上に向けて～

市民サービスの向上を図るためには、時代の潮流や、多様化する市民ニーズを的確に捉え、市民にとって満足度の高い行政サービスを提供することが望まれています。

このことから、事務事業の見直しを行うとともに、窓口などのサービス向上、市民ニーズに対応した情報システムの構築などを行い、市民にとって、暮らしが便利になるような、満足度の高いサービスを提供することが必要であります。

そのために目指すのは、利用者中心の行政サービス改革であります。この利用者には住民や事業者だけでなく、自治体の職員も含まれます。つまりは“行政も、住民ももっと便利に”ということです。

そのために、「マイナンバーカード」と「うおぬま・米ねっど」が重要なツールになってくると考えます。

【マイナンバーカードの普及・利用促進】

市民の利便性向上と業務の効率化の観点から、市民が窓口へ足を運ぶ必要がなく、また時間や場所の制約なく申請・納付等ができる行政手続きのオンライン化に向けた取組みが今後、ますます必要になってきます。そのためにはマイナンバーカードの普及・利用促進が重要となります。

政府は、マイナンバーカードに健康保険証の機能も

付けることによって、2023年3月末までには、ほとんどの住民がマイナンバーカードを保有することを目指しております。

2022年5月1日現在の全国マイナンバーカード交付率は44.0%であり、南魚沼市の交付率は、38.9% (R3.1.1時点)、県内20市の内、6番目であります。

市民の目線に立てば、申請補助があってもカードに魅力がなければ申請する動機は生じないものです。カードの利便性を向上させるために様々な取り組みを進めていく必要があります。

マイナンバーカードのマイキープラットフォーム^{*}を活用することで、魅力を向上することができます。

例えば、

①定期預金・子育て支援ローンの金利の優遇特典への取組み。

金融機関の協力を得て、カードを持っている人は定期預金の金利アップやマイナンバーカードの普及率は20代、30代が低いとの分析から、ターゲットを若者に絞り、地元銀行で、子育て応援ローンの金利を下げる取組み。

②商店街のポイントマイナンバーカードに貯められるシステムの構築への取組み。

更に民間カードと連携し、民間カードポイントを自治体ポイントと共有を可能にする。

③市民がボランティアや健康増進の活動を行った場合などに自治体が発行するポイントを、マイナンバーカードに貯められるシステムの構築への取組み。

④マイナンバーカード認証により健診情報や予防接種履歴を正確に確認できる「電子母子手帳サービス」への取組み。当該アプリ内で子育てを応援する飲食店を募集して、お子様ランチ無料等のクーポンを発行する取組み。

⑤マイナンバーカードと市の図書館カード等公共施設の利用者カードを1枚にまとめる取組み。

⑥うおぬま・米ねっとの機能をひとつにする取組み。

【うおぬま・米ねっとの普及】

うおぬま・米ねっとは、医療情報共有からスタートしましたが、平成31年度から介護情報も共有し、魚沼医療圏の医療・介護の連携と地域包括ケアシステムをさらに推進していく狙いがあります。

そのためには、うおぬま・米ねっとの加入者を増やしていくことが重要となります。

うおぬま・米ねっとの圏域全体加入率30%以上を目標としておりますが、令和4年1月31日現在において、圏域全体で、加入率は24.5%であり、南魚沼市は、21.7%、最も高いのが、魚沼市の36.6%であります。

◆うおぬま・米ねっとの加入メリットは、

1. 医療・介護の情報が連携することにより、重複検査の低減や禁忌薬情報を参照出来る。
 2. 日頃の介護記録を医療従事者へ共有されるため、米ねっど加入患者の病状の急変時や緊急時の適切な処置にもつながる。
 3. 非常時においても健康データ管理が可能であることから、とても有効な防災ツールになる。
 4. 診療準備時間や経費負担が減ることは、住民の負担軽減のみならず自治体負担の軽減にもつながる。
- このように、うおぬま・米ねっどには、多くのメリットがあり、医療過疎といわれる魚沼圏であるので、限られた医療資源を有効に活用していくためにも大切なツールのひとつであると考えます。

是非とも、市民の皆さまには、マイナンバーカードとうおぬま・米ねっどに加入して頂けることを願っております。

※マイキープラットフォーム

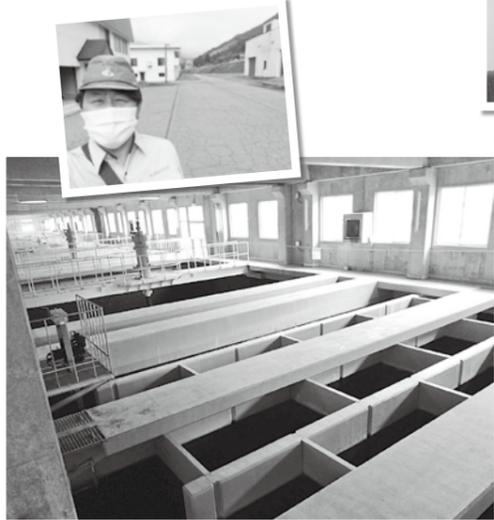
マイナンバーカードのICチップの空きスペースと公的個人認証の部分であるマイキー部分を利用して行政の効率化や地域経済の活性化。

活動報告

ここ最近の目黒哲也の活動の一部を紹介いたします。
見かけたらお気軽にお声がけをお願いいたします。



魚野川河川敷
草刈りボランティア活動



趣味のロードバイク
シーズン到来

水道料金の見直し
を検討している駐
地浄水場視察



南魚沼市消防署視察



銭淵公園ゴミ拾いボランティア活動



新ごみ処理施設の建設予定地が
決定。現在のごみ処理施設視察

議会TOPICS

6月定例会 「コロナからの復興へ」 総予算額 5億円

- | | |
|------------------|---------------|
| ①プレミアム商品券 | 予算額 3億円 |
| ②ふるさと応援プレミアム旅行券 | 予算額 1億7,000万円 |
| ③市内イベント復興支援事業補助金 | 予算額 2,000万円 |
| ④夏季合宿誘致支援事業補助金 | 予算額 1,000万円 |

臨時理事会 「原油価格・物価高騰対策」 総予算額 2億4,300万円

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 生活者支援に関する事業 | 3事業予算額 9,150万円 |
| ①子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 | 予算額 6,650万円 |
| ②保育園等給食費負担軽減支援事業 | 予算額 900万円 |
| ③学校給食費負担軽減支援事業 | 予算額 1,600万円 |
| 2. 事業者支援に関する事業 | 5事業予算額 1億5,150万円 |
| ①高齢者施設緊急支援事業 | 予算額 1,200万円 |
| ②障がい者施設緊急支援事業 | 予算額 300万円 |
| ③交通事業者緊急支援事業 | 予算額 850万円 |
| ④中小企業金融制度事業（信用保証料補給事業） | 予算額 500万円 |
| ⑤農業者等緊急支援事業 | 予算額 1億2,300万円 |